

令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人茅ヶ崎ユニバーサルデザインスクエア

1. 事業の成果

令和4年度の事業を継承し、障害のある人たちと地域の人たちが共生できるまちづくりと地域福祉の増進を図ることを基本理念とした自立生活支援事業を実施できた。

2. 事業内容

1) NPO 会員状況 ・正会員10名、準会員11名、賛助会員2名

2) (地域活動支援センター) 基礎事業

茅ヶ崎市からの事業委託金により運営される障害者の自立生活支援事業の基本部分。

・内容

パソコン利用学習、陶芸活動、手芸活動、園芸活動、英会話教室、マッサージの基本活動の行事を通じて、自身が持つ力を発揮できるよう援助し、地域での生活自立を促進すると共に、社会交流の機会の提供を実施した。

①基礎的活動としてパソコン活用や陶芸、手芸、園芸、英会話教室、マッサージを中心とした創作的活動と生産機会を提供した。

②感染対策を徹底し、三密を避けるため午前、午後と2部制にして通所者を制限した。
医療機関に通院できないメンバーの高次脳機能障害回復のため、認知リハビリテーションを実施した。

③通産省の中小企業デジタル化応援事業に参画しオンラインのコミュニティを構築した。
メンバーにパソコン操作を指導し、利用方法を提示しシステム速度や容量を拡大し、円滑にパソコンを行えるようにした。

④ 赤い羽根街頭募金や、障害者週間街頭キャンペーン等への参加による社会対応への支援を図った。

⑤行事として、県の福祉バスともしび号にて、富士山・忍野八海へ、日本平・三保の松原へ日帰り旅行を行った。利用者、利用者家族と参加し親睦の機会を設けることができた。
そのほか、江ノ島散歩、横浜中華街への食べ放題と山手散策等のものを行った。

・期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日までの225日

・場所 地域活動支援センター楽庵

・従事者人員(3月31日時点) 常勤2人 非常勤6人、ボランティア1名(内 言語聴覚士、看護師、鍼灸・マッサージ師、SE、各1名)

・対象者 通所障害者及び一時利用者 25~30名

3) 地域ネットワーク事業

地域の関係団体の代表者及び職員をメンバーとしたネットワーク会議を7回開催し、障害に対する理解の促進を図り、地域ボランティアとの協同活動を実現した。

4) 地域交流事業

- ・手芸教室実施 第1木曜日 通所者に加え、地域及び他施設から1～2名参加
- ・地域の行事、催し物へ参加し、交流を図った。コロナ感染のため通常毎年行われてるイベントは中止となったが、楽庵の畑の野菜と陶芸、手芸品等を理事長宅駐車場で6回程売店をだし、販売した。
- ・陶芸教室実施 コロナ感染のため見合わせ

5) 福祉まつり等バザー物品販売事業

コロナの感染のため見合わせ

6) 相談・支援事業

・内容

高次脳機能障害の認知機能や、発達障害のコミュニケーションに問題がある障害(児)者を対象として、生活上の躓きや不自由さをわかり易く説明し、保護者と共にその解消に向け取り組んだ。

- ・日時 適宜、予約制
- ・場所 地域活動支援センター楽庵相談室
- ・従事者人員 言語聴覚士 1名
- ・対象者 高次脳機能障害者、発達障害者

以前通所していたメンバーが、職場での生活などの報告に来所。障害を乗り越えて就労する苦勞を分かち合う場を提供した。

7) 学習研究会事業

- ①障害者の家族が、医師、教育者、福祉士等の専門家を交えて、日々暮らしていく中での課題、情報を交換、共有しながら話し合う場を提供した。
- ②年数回、専門家（歯科医・管理栄養士・保健士・介護職・言語聴覚士）同士で、全身の運動機能や栄養学、口腔機能と密に関連している摂食コミュニケーションに関しての話し合いを行った。
- ③脳外ネットワーク会議に参加し、県内の有識者と交流。神奈川県リハビリテーション病院、横浜リハビリテーションセンター他、高次脳機能障害者の自立に研鑽に努めた。

8) フレキシブル事業

看護師免許所有の職員が、常勤勤務し、通所者からの健康相談を受け、現在の状態を把握し、健康保持に努めた。

9) 運営基盤安定事業

- ・労務士（大沢事務所）指導による諸労働規約の見直し、異動に伴う社会保険等の手続きを依頼した。
- ・会計事務所（湘南ビジネスマネジメント）には会計ソフト「弥生会計」等の利用による諸会計整理の再構築を委託すると共に更なる効率化も検討

以上